

いきいき  
まえばし人



建築板金工で技能功労者表彰

目崎 始さん・61歳  
下小出町一丁目

責任ある仕事で信頼を築く

11月10日、本市の産業の発展に寄与した技術者をたたえる、市技能功労者表彰を受けた。板金技能士として、建物の屋根や雨どいを作るのが主な仕事だ。

息づいています。仕事をすることで特に大切にしているものは責任という。危険を伴う仕事だが、逃げるわけにはいかない」と語る。

「通知をいただいたときは驚いたと同時に、今までお世話になった人への感謝の気持ちでいっぱいになりました。一番感謝したいのは家族です。」

「お金をいただいたら終わりではなく、大事なものはその後、自分が手を掛けたものは最後まで責任を持って点検や清掃をしています。そうして築いてきた信頼で、今まで続けることができました。」

祖父と父が経営する会社を中学時代から手伝い、平成8年に引き継いだ。これまでの仕事が建物という形となって残るため、思い入れもひとすおだ。

忙しい毎日だが、時間が空いた日には孫を連れて出掛ける。孫の成長が何よりの楽しみだという。

「15歳で初めて親の手を離れて仕上げたときは、とてもうれしかったのを覚えています。このときの経験が基礎となって、現在の技術の中に

「先日は一緒に西の市まつりに出掛けました。喜ぶ顔を見ると、仕事の疲れも吹き飛びます。」  
これからの技と心で、建物に命を吹き込み続けてほしい。



絵本から学ぶ環境対策

11月21日、前橋プラザ元気21で環境問題講演会を行いました。「葉っぱのフレディ〜いのちの旅」の翻訳で有名な絵本作家・みらいなさんを迎え、絵本の読み聞かせや基調講演を開催。参加者は環境問題を共に考えました。

名誉の受賞に喜びの言葉



前橋文学館で11月7日、第17回萩原朔太郎賞贈呈式を実施しました。受賞者の松浦寿輝さんに賞状などを授与。松浦さんは「朔太郎という大きな存在の名が付いた賞をいただき光栄です」と語りました。

触ってみたよフクロウの羽

Qのまち広場で11月21日、タカとフクロウに親しむ教室を開催しました。参加した130人は、タカなどの飛ぶ姿や生態の説明に興味津々。その後の触れ合いの時間では、フクロウの柔らかな羽に触れながら記念撮影を行いました。



クローズアップ



ステージで輝く伝統文化

市民文化会館で11月21日、郷土芸能大会を開催。地域文化である郷土芸能の保存・継承を目的に今回で37回目を迎えました。大前田町の大前田諏訪神社の獅子舞や泉沢町の伊勢音頭など、6つの伝統芸能を披露。抽選会も行われ、会場は大いに盛り上がりました。

いにしえ  
万華鏡  
その九

問い合わせは 文化財保護課 ☎2331-9531

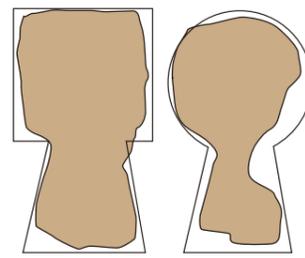
前方後方墳で東日本一の規模を誇る  
国指定史跡 八幡山古墳

県道前橋館林線のJ・R前橋大島駅入口交差点を南下し、広瀬川を渡り右折すると、300メートルほどのところに八幡山古墳があります。本コーナーその六で紹介した天神山古墳と共に、本県で最も古い大型古墳の1つで、全長は130メートル。昭和24年に国の史跡に指定されています。天神山古墳が前方後円墳であるのに対して、八幡山古墳は前方後方墳。四角と四角の組み合わせからなる古墳です。

地方で古い物が確認されているため、東海地方から広まったという説があります。土を高く盛り上げた古墳が出現する以前は、周りに溝を巡らせた低い墳丘の墓が造られていました。特に東海地方では前方後方形の物もあり、前方後方墳のルーツを求めることができそうです。



堂々とたたずむ八幡山古墳



八幡山古墳(左)と天神山古墳(右)

古墳時代は前方後円墳が一般的でしたが、前方後方墳は古墳時代初期に限定して造られています。東日本に多く存在し、中でも東海

一方、前方後円墳は近畿地方のヤマト王権が生み出したと考えられています。上毛野国では最初に前方後方墳の八幡山古墳が造られ、やがてヤマト王権との関係が緊密になり、前方後円墳の天神山古墳が造られたと考えられます。この2つの古墳は、4世紀前半、2代にわたって君臨した上毛野国の最有力首長の墓であったと考え、間違いないでしょう。